

はあ〜てい

この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

サマーボランティアスクール2017



保育施設



高齢者施設

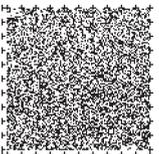


障がい者宅

この夏、市内の障がい者・高齢者・保育施設等の皆様とともに、『サマーボランティアスクール』を開催し、今年度は、昨年の約2倍となる147名の生徒さんが参加しました。

この『サマーボランティアスクール』は、中高生に福祉施設等でのボランティア活動を通じ、福祉やボランティアについての理解や関心を深めるとともに、いろいろな人達との出会いの中で、さまざまなことを学ぶ場として、毎年社協が開催しています。

この夏の経験を、今後の生活の中で生かしてもらえることを期待しています。



※まずボランティア情報(2)ページにも活動の写真を掲載しています。



共同募金運動がはじまります!!

赤い羽根共同募金運動が、10月1日から全国一斉に始まります。

身近な地域に暮らしている体の不自由な方や高齢者など、手助けを必要とする方々を支援するための募金です。「誰かの役に立ちたい」という皆様の助けあいの気持ちを共同募金にお寄せくださいますよう、ご協力をお願いいたします。



平成 29 年度目標額 (30 年度事業)	一般募金目標額 歳末たすけあい募金目標額	14,216,000 円 4,866,000 円
--------------------------	-------------------------	-----------------------------

Q. なぜ募金に目標額があるの？

赤い羽根共同募金は、あらかじめさまざまな団体に申請を呼びかけ、どのくらい使い、どのくらい助成をするか計画を立てたうえで募金活動を行うため、目標額があります。

Q. 善意の募金なのに、なぜ寄付額を割り当てるのですか？

ご寄付いただく目安として「目安額」をお示ししています。皆様にご寄付いただくにあたっては、任意でご協力いただければけっこうです。



今年度の募金により30年度に実施される事業

高齢者の福祉
1,047,000円



安心お買い物宅配サービス事業

- ・友愛メール事業
- ・老人クラブ活動への助成など

障がい児・者の福祉
1,455,000円



知的障がい者視察研修事業

- ・益田市障がい者スポーツ大会
- ・地域ボランティアへの啓発交流事業など

児童・青少年の福祉
2,255,000円



益田市地区青少協活動支援事業

- ・クリスマス交流会
- ・子育てサロン
- ・福祉教育推進事業など

地域住民の福祉
5,503,000円



益田市ボランティア連絡会研修会

- ・小地域ネットワーク事業
- ・社明運動広報活動、社協だより発行など

その他、益田市を含む県内の広域福祉にも助成されます。

益田市では福祉団体（4団体）へ助成（送迎車両の整備、トイレ増築改修など）
災害等準備金として災害ボランティア活動支援など

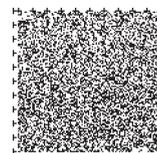
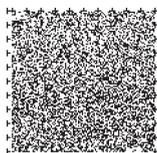
「寄付つき商品」の購入で、
赤い羽根共同募金に寄付ができます。

簡単にできる募金として、図書カード・クオカード募金があります。
1000円でカードを購入して頂き、そのうちの500円が募金となります。希望される方は、下記まで、お問合せ下さい

益田市共同募金委員会
(益田市須子町3-1 : 22-7256)



平成29年度 図書カード 图案最優秀賞



ますだボランティア情報

No. 39
平成29年10月発行

災害ボランティアセンター 運営訓練を行いました



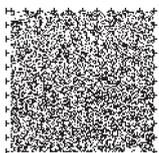
事前オリエンテーション(注意事項説明)の様子

8月29・30日に、島根県社会福祉協議会主催・益田市社会福祉協議会共催の『災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座』が総合福祉センターで開催されました。

災害ボランティアセンターは、住民の生活復興を支援するために設置されます。今回の講座では、災害ボランティアセンターの役割や運営について理解を深め、災害時、迅速かつ的確な対応と被災者本位の支援活動が行えるよう実施しました。

市内で大規模災害が発生した時を想定した『災害ボランティアセンター運営訓練』では、実際に即して実践的に行われ、ボランティアの受け入れ体制を確認したり、状況に応じた判断を求められたり、改めて訓練の大切さなどを確認しました。

今後もこのような訓練を行い、災害時、迅速かつ的確な支援が行えるよう体制を整えていきます。



資機材・送迎班の様子



マッチング班の様子

『平成29年7月5日からの大雨災害義援金』 『大分県豪雨災害義援金』 募集について

このたびの九州北部豪雨災害において、被害を受けられた地域の皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。
平成29年7月5日から記録的な豪雨により、九州北部において甚大な被害が発生しました。この災害で被災された方々を支援するため、福岡県・大分県共同募金会では、下記のとおり義援金を受け付けています。お預かりした義援金については、各県が設置する義援金配分委員会で配分が決定され、被災者に配分されます。

この義援金は、税制優遇措置の適用対象となります。詳しくは益田市社会福祉協議会までお問い合わせください。
市民の皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

- 義援金の名称『平成29年7月5日からの大雨災害義援金』『大分県豪雨災害義援金』
- 受付期間 平成29年12月28日（木）まで
- 義援金の受け入れ口座

【福岡県】平成29年7月5日からの大雨災害義援金

金融機関	口座記号番号	口座名義
ゆうちょ銀行	00980-0-332036	福岡県共同募金会 7月大雨災害義援金

【大分県】大分県豪雨災害義援金

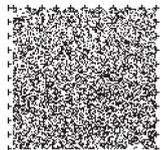
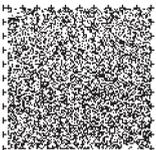
金融機関	口座記号番号	口座名義
ゆうちょ銀行	00990-3-236117	大分県共同募金会 豪雨災害義援金

- なお、益田市社会福祉協議会の窓口でも義援金の受け付けを行っております。



サマーボランティアスクール2017

たくさんの出会いと、
笑顔あふれるボランティア活動となりました



善意の輪 (平成 29 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日)

敬称略

ご寄附ありがとうございました。
地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として、活用させていただきます。

【香典返し】			(故) 岡崎 大志 (白上町)	金一封	齋藤 卓男 (美都町都茂)	金一封
升本 百枝 (飯浦町)	金一封	(故) 渡邊ユキエ (元町)	金一封	大谷 岳 (匹見町紙祖)	金一封	
椋木 福蔵 (喜阿弥町)	金一封	(故) 新比恵 健 (大阪府豊中市)	金一封	(故) 山根サツヨ (匹見町匹見)	金一封	
(故) 中野 博 (駅前町)	金一封	(故) 深谷サチコ (中島町)	金一封	三浦 和顕 (匹見町道川)	金一封	
(故) 中島 幸夫 (栄町)	金一封	寺戸 康人 (馬谷町)	金一封	齋藤 章吾 (匹見町紙祖)	金一封	
豊田 紹典 (土井町)	金一封	澤江 重夫 (東町)	金一封	【見舞返し】		
渡邊 毅彦 (久々茂町)	金一封	野坂 久子 (飯浦町)	金一封	伊藤 久晃 戸田町	金一封	
西野 哲男 (遠田町)	金一封	(故) 大谷 芳徳 (久城町)	金一封	【一般寄付】		
大石 慶子 (喜阿弥町)	金一封	(故) 三原 齊 (常盤町)	金一封	株タイピック	86,996円	
石田 實 (有田町)	金一封	(故) 城市 徹 (東町)	金一封			

ふれあい福祉相談のご案内 10月・11月の相談日

相談	開催日	時間	場所
無料法律相談	10月13日・11月10日 (金)	13:00~15:00	益田市総合福祉センター
	【美都】10月24日 (火)		ふれあいホールみと
ふれあい福祉相談	10月13日・11月10日 (金)	10:00~15:00	益田市総合福祉センター
老人母子相談	10月13・27日 (金)	10:00~15:00	益田市総合福祉センター
	11月10・24日 (金)		

『どこに相談したらいいの?』という、家庭内外のトラブルや心配ごと等、ふれあい福祉相談をご利用ください! 広く日常生活上の相談をお受けしています。



益田市社会福祉協議会 (月~金 8:30~17:30)
お問い合せ・ご予約 本所 TEL: 22-7256 美都支所 TEL: 52-2392

近所福祉のあれこれ! Vol.5

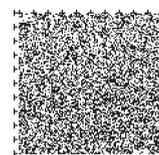
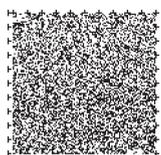


支え合いマップづくり
災害時にも強い地域づくり

昨今の災害を見ると、いつでもどこにでも、忘れないうちに次の災害はやって来ます。阪神淡路大震災直後、家の下敷きになった人を助けに駆けつけた人の85%が、被災者宅のご近所さんでした。

とすると、これからの自衛策の一つは、ご近所同士の普段からのお付き合いが鍵ということになります。そこで「支え合いマップづくり」が役立ちます。

マップづくりを通して、災害時に備えた具体的な取り組みについては、改めて紹介します。



生活困窮者自立相談支援事業講演会

誰もが住みやすいまちづくりをめざして

— 制度のはざまを考える —

講師 ^{かつべ} 勝部 ^{れいこ} 麗子 氏

豊中市社会福祉協議会福祉推進室長
NHKドラマ「サイレント・ブア」モデル・監修
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演



わたしたちが住んでいる益田市にもゴミ屋敷やひきこもり、子どもの貧困などさまざまな問題が隠れています。今困っている人を知っている方、地域のために何かできることを考えている方、益田市がもっと住みやすい町になって欲しいと思っている方、ぜひ本講演会にお越しください。

入場無料/申込不要

手話通訳・要約筆記あります

10/21
13:30 ~ 15:30 (土)
(開場13:00より)

会場 **益田市総合福祉センター大集会室**

(〒698-0036 益田市須子町3-1)

問い合わせ先 **益田市社会福祉協議会** 電話 22-7256 / FAX 23-4177 担当 **樫**

7月14日

車いすを寄贈していただきました

益田市社会福祉協議会
美都支所

中国地方郵便局長協会より車いす4台を寄贈いただき、特別養護老人ホーム美寿苑にて贈呈式が行われました。

石見西部地区郵便局長会副会長 青木様をはじめ、地元の都茂郵便局長、二川郵便局長が来苑され、利用者の方々が見守る中での開催となりました。

贈呈いただいた4台の車いすは、特別養護老人ホーム美寿苑に2台、老人ホーム春日荘、美都デイサービスセンターに1台ずつ設置しました。大切に使用させていただきます。大変ありがとうございました。



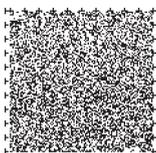
7月30日

夏休み体験教室 in 高津児童館

夏休み企画『夏休み体験教室in高津児童館』が開催され地域の子どもや放課後児童クラブ『いちごクラブ』の児童など約50名が参加しました。

野外クッキングでは、竹にパン生地を巻いて焼く『ぐるぐるパン』を作り、子ども達は“ものづくりの楽しさ”を体験しました。この活動には地域住民の協力があり、地域の子ども達との繋がりを深める良い機会になりました。

出来た料理をみんなで食べて、子ども同士や地域の方々との心通うふれあいのひと時を過ごすことができました。



発行: 社会福祉法人 **益田市社会福祉協議会** 〒698-0036 益田市須子町3-1
編集: **益田市社会福祉協議会広報運営委員会** TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
「ほあてい」は英語で“心の温かい”、“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

